

# 信州幼児教育支援センターについて

学びの改革支援課

(1) 設置 平成 31 年 (2019 年) 4 月 1 日～

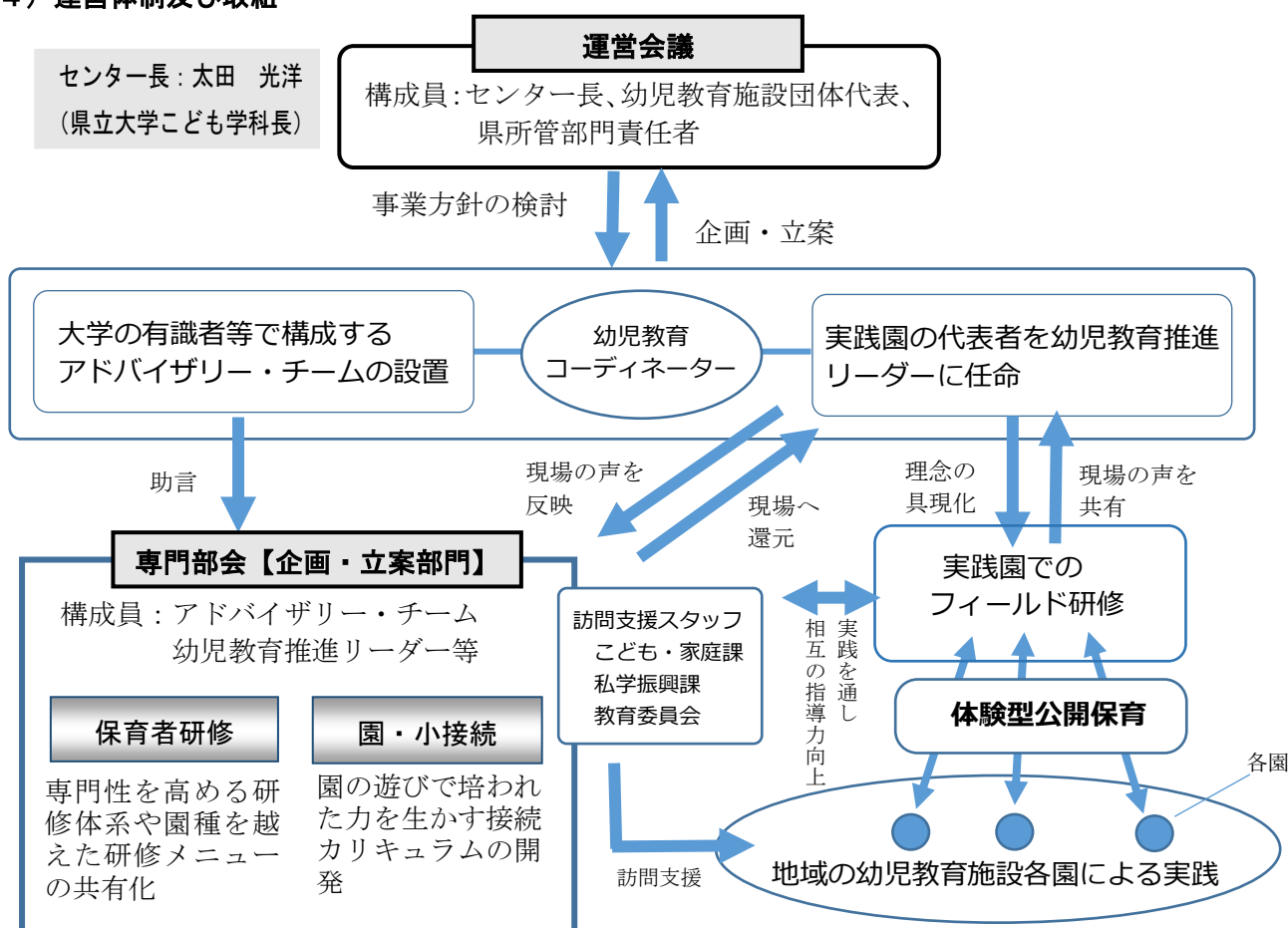
(2) 目的 幼稚園・保育所・認定子ども園等の園種を越えて、県内全ての園における質の高い幼児教育を提供し、主体的に学び続ける信州人の基盤をつくる。(「信州幼児教育振興指針」H31. 3 月策定)

目指す姿「笑顔かがやき、夢中になって遊ぶ子ども」

(3) センターの特徴

「オールながの」大学や専門家と保育現場の知見を集め、施策を企画・立案  
☞ 運営会議・専門部会

(4) 運営体制及び取組



- 「信州やまほいく」や「インクルーシブ教育」の視点を踏まえ、検討
- 園種を越えた研修の相互乗り入れの実施

- 【フィールド研修を行う実践園】…計 7 園
- 県内 4 地区に各 1 園ずつ  
(公・私、幼稚園・保育所・認定子ども園のバランスを考慮)
  - 県内全域に 1 園 (インクルーシブ)
  - 園・小接続
  - 信州やまほいく

## 幼児教育支援センター事務局

事務局長 教育次長

担当 県民文化部 (次世代サポート課、私学振興課、子ども・家庭課)、教育委員会 (学びの改革支援課)

# 信州幼児教育支援センター運営事業

## ○令和3年度の主な事業内容

### 1 信州幼児教育フィールド研修

#### (1) 目的

学びの改革実践園において、園種を越え学び合い、自身の園の実践につなげ、県内全ての園における質の高い幼児教育の実現を目指す。

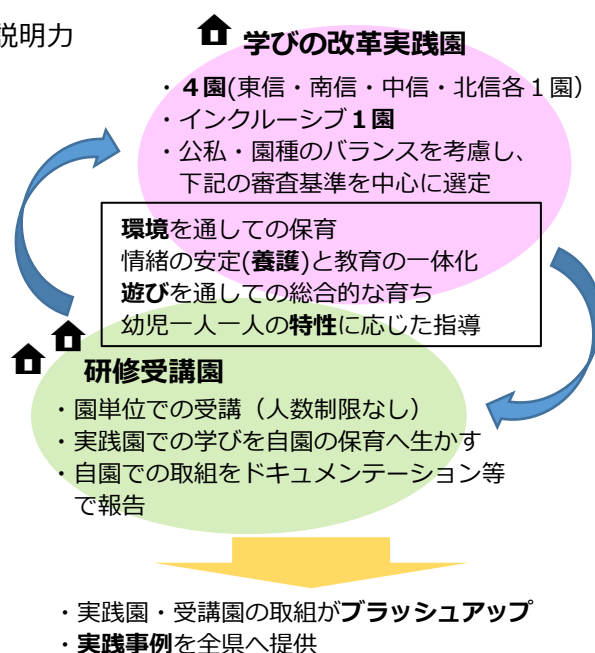
#### (2) 課題

- 保育・幼児教育の質の向上が求められている
- 遊びを中心とした保育についての理解、共有、説明力
- 保育・幼児教育の重要性の発信

#### (3) 内容

- 学びの改革実践園の公募（3月～4月）
- 学びの改革実践園の選定（5月）
- 研修受講園の募集・決定（6月）
- オリエンテーション※（6月）
- 第1回フィールド研修※（7～8月）
- 第2回フィールド研修※（10～11月）
- リフレクション研修※（1月）
- 実践事例の提供（2月）

保育者の学びを止めない



#### (4) 令和3年度の研修の特徴

Web 会議システムを活用したオンライン開催

- メリット1 自園にいながらの研修参加
- メリット2 動画や写真で保育の様子を解説する、保育のポイントを押さえた研修
- メリット3 コロナ禍であっても、園種を越えて学び合う

#### (5) 令和3年度の実施状況

【各会場の開催日程・研修内容】 保育の質の向上に取り組む「学びの改革実践園」		①	②
東信会場	認定こども園あそびの森あきわ テーマ:「自分づくり」につながる育ちを考える	8月2日(月)	10月6日(水)
南信会場	伊那市立竜東保育園 テーマ:心が動く遊びの環境を目指して～「やってみたい」が見つかる保育～	7月30日(金)	10月14日(木)
中信会場	松本青い鳥幼稚園 テーマ:遊びを中心とした主体的な生活の中で「感じる」「考える」「行動する」「共に」を育む保育実践	7月13日(火)	11月18日(木)
北信会場	須坂市立日野保育園 テーマ:自然の中で五感を使い、自分で考え、自分で行動できる子どもとは	7月20日(火)	10月26日(火)
インクルーシブ会場	社会福祉法人岩村田北保育園 テーマ:共に育ち 笑顔かがやき 夢中になって遊ぶ子ども ～子どもの心の動きを捉え、ひとりひとりの遊びの創造と深まりを目指して～	7月29日(木)	11月2日(火)

研修受講園申込状況

123園 のべ333名

## 2 保育者研修体系の構築

### (1) 目的

**研修の体系化**…園種により研修体系が異なる中で、スリムでキャリアアップ性が高まるよう、  
**保育者育成指標**に基づく研修の体系化により、研修の充実を図る。

**自律的専門家の育成**…遊びを中心とした保育の意義を理解し、実践できる保育者の育成にむけ、  
**保育者の意識改革**を図る。

### (2) 課題

- 園種や公私を越えて共通する課題や、それぞれの現場のニーズに応じた研修の充実
- 保育者が遊びを中心とした保育の本質について理解し、実践する力の育成が必要

### (3) 内容

	信州幼児教育支援センター	市町村・関係団体
R2	<b>保育者育成指標「1.0」を作成</b> ・保育者の資質能力を整理・明示 ・専門性を高める自己設計能力の醸成へ	<b>それぞれの研修体系により研修を実施</b> 園種を越えた研修参加（フィールド研修） 研修の乗入れ 研修状況調査（2月～3月）
R3	<b>保育者育成指標「1.0」の試行</b> 県主催の研修の見直し 指標に基づいた研修動画の作成 育成指標「1.0」の見直し	<b>育成指標に基づき、研修を見直す</b> ・園種により異なる研修を整理 ・参加対象・内容・相互乗入れの検討
R4	<b>保育者育成指標「1.1」の運用</b> 育成指標に基づく研修の実施 新たな研修体系の検証	<b>育成指標に基づき、研修を実施</b>

スリムで効果的な研修体系を普及

## 3 幼保小接続カリキュラムの開発

### (1) 目的

**学びの改革を実現する接続**

- ・「小学校への適応」から、**発達や学びをつなぐ接続**への転換により、学びの改革の実現を図る。

### (2) 課題

- 教育は「小学校からスタートする」という誤解
- 接続が「小学校への適応」に留まる
- 教師主導の教育、**集団適応重視の教育**

### (3) 内容

	信州幼児教育支援センター	市町村教育委員会・市町村
R2	<b>カリキュラムの開発 理論編「1.0」作成</b> ・接続の考え方を示す ・市町村教委へ「理論編」提供 <b>実践事例の開発</b> ・公募(池田町、信濃町へ委託)	・「接続を見通した教育課程編成実施市町村」23% (R1 幼児教育実態調査) 新学習指導要領により <b>スタートカリキュラム</b> 実施
R3	<b>理論編「1.0」運用</b> ・接続の状況を共有 ・理論編の見直し <b>実践編作成</b> ・実践編の提供	<b>幼保小連携・接続推進会議</b> 6月) 先進的な市町村と情報交換 2月) R4の連携や接続の施策について協議
R4	<b>実践事例の収集</b> ・実践事例集の作成等	<b>幼保小連携・接続推進会議</b> ブラッシュアップしながら カリキュラムを実践

・育みたい資質・能力を接続

園との連携の  
広がり・深まり